



| R4.4.1 現在 | 学級数 | 生徒数 |
|-----------|-----|-----|
| 1 学 年     | 4   | 147 |
| 2 学 年     | 5   | 161 |
| 3 学 年     | 4   | 157 |
| 特別支援      | 5   | 29  |
| 合 計       | 18  | 494 |

## 大切にしてほしい3つの心

吉川市立南中学校 校長 福嶋 正悟

4月に155名の新入生を迎え、生徒数494名、18学級、教職員44名で、いよいよ令和4年度が始まりました。申し遅れましたが2年目を迎えました、校長の福嶋 正悟と申します。今年度もよろしくお願いいたします。

以前、別れが多い3月は苦手だと書いたことがありました。その反対に4月は好きです。年度が変わり、新年度、新学期が始まれば、心新たに再スタートが切れるのも学校のいいところだと思っています。新たな仲間、新たな気持ち、新たな決意とやる気を持って、家庭・地域の皆様のお力添えをいただき、学校教育を力強く進めて参りたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、入学式・始業式では、大切にしてほしい「三つの心」の話をしました。一つ目は、「探究する心」です。探究する心とは、「わからないことを追い求め、その本質をつきとめようとする心」です。予測困難な時代、環境問題、エネルギー問題、持続可能な社会開発、戦争・紛争など、人類に突き付けられた課題は山積みです。しかも、それらの課題に正解はありません。だからこそ、誰かが解決策を示してくれるのを待つのではなく、自ら課題を見つけ、あきらめずに追及する力、問いを立て、それを解き明かそうとする探究する心が重要であると考えています。しかし、あまり難しく考える必要はありません。まずは、身の回りのことに「なぜだろう。」「どうすれば、よりよくなるのだろうか。」と疑問を持ち、自ら課題を発見し、問いを立てていけばいいのです。探究する心を持ってほしい。これが一つ目の願いです。

大切にしてほしい二つ目の心は、「思いやりの心」です。吉川市教育大綱は、「家族を郷土を愛し、志を立て、凜として生きてゆく」です。家族・郷土を愛するスタートは、家族や仲間、地域の方々に対して、思いやりの心を持って接することだと考えています。思いやりとは、相手の立場に立って、考えることです。まずは、今日から始まる新生活において、新たな出会いを大切にしてほしい。この4月の出会いを大切に、仲間に思いやりの心を持って接すれば、おのずと相手もあなたを大切にしてくれるはずです。

三つ目の心は、「学び続ける心」です。南中学校の学校教育目標は、「よりよく生きる」です。よりよく生きるとは、今の自分より、今の状態より、一步でも前に向上しようと生きることです。そこで、必要となるのは、学び続ける心、あくなき向上心です。自らがなりたい自分になるために、仲間と協力し、あきらめずに学び続ける人になってほしいと思っています。学び続ける心、これが大切にほしい三つ目の心です。

以上、校長から大切にしてほしい「三つの心」のお話をしました。「探究する心」「思いやりの心」「学び続ける心」この三つの心を忘れず、令和4年度を、より充実したものにしてほしいと思っています。